

山口県高校生ボランティアバンク

1 趣旨

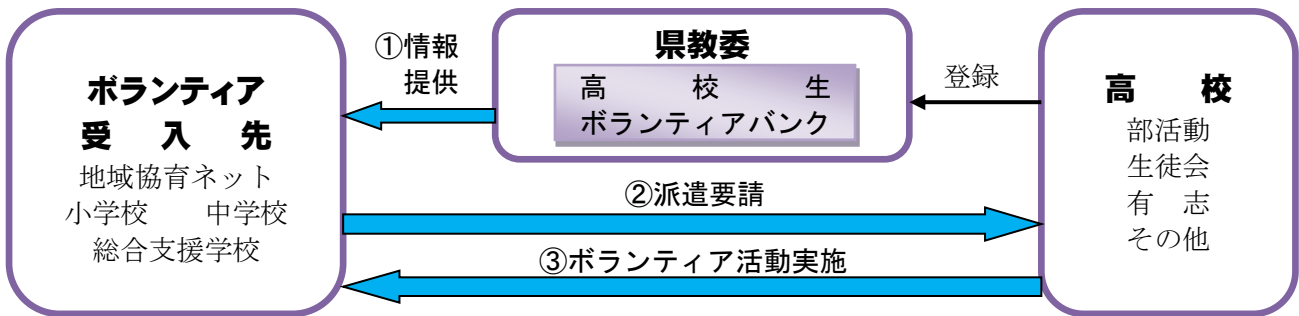
東日本大震災をきっかけに人と人との絆が改めて見直され、多様な他者とのつながりや支え合いの構築が重要視される中、他者を思いやり、共感したり感動したりする心や態度、社会に貢献しようとする態度などを育むことが、これまで以上に求められている。

こうした中、ボランティア活動は、高校生が社会の一員であることを自覚し、互いが支え合う社会の仕組みを考える上で意義があると同時に、自己のよさや可能性を見出し、自分自身を高める上でも大きな教育的効果がある。

このため、県教委が高校生とボランティアの受入先とをつなぐ「高校生ボランティアバンク」を設置し、地域における高校生のボランティア活動の活性化を図ることで、高校生の社会貢献や社会参加を促す。

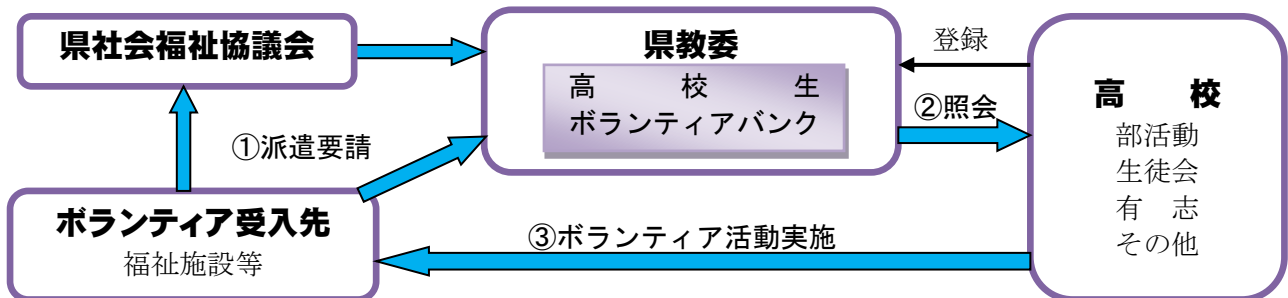
2 高校生ボランティア派遣の流れ

【地域協育ネット及び学校におけるボランティアの場合】



- ① 県教委は、「ボランティアバンク」に登録している高校を高校教育課のHPに掲載し、情報を提供する。
- ② 地域協育ネット、小・中学校、総合支援学校は、高校教育課のHPに掲載されている登録高校の一覧表を見て、ボランティア活動日の1か月前までに、高校へ直接、ボランティアの派遣を要請する。
- ③ 高校と受入先で事前打合せを行った上で、ボランティア活動を実施する。

【社会福祉協議会を通じたボランティアの場合】



- ① 福祉施設等の受入先は、ボランティア活動日の1か月前までに、県社会福祉協議会又は県教委高校教育課に、高校生ボランティアの派遣を要請する。
- ② 県教委が高校に照会し、マッチングを行う。
- ③ 高校と受入先で事前打合せを行った上で、ボランティア活動を実施する。

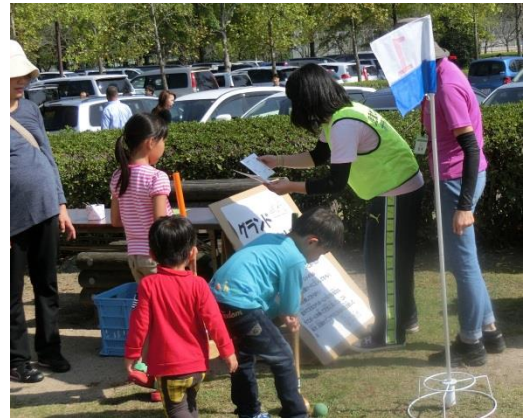
3 活動内容例

- 地域協育ネットに所属する各種団体が主催する行事への参加
- 学校の教育活動や地域で行う活動への支援
- 福祉施設における介助補助、清掃、レクリエーション
- 社会福祉協議会が実施しているボランティア活動への参加
- 公共施設や地域での清掃ボランティア

※ 高校生のボランティアは、原則として学校所在地の周辺地域で、学校の授業日以外（土曜日・日曜日・祝日、長期休業中）に行う。

4 活動の様子（平成25年度の主な活動例）

- 県児童センター主催の体育イベントで、参加した幼児・児童への各種遊びのサポートや、イベント運営のお手伝いを行った。
- デイサービス施設で、高齢者の話し相手や手作業・工作の介助補助を行った。
- 特別養護老人ホームにおいて、施設内の窓ガラス、網戸等の清掃を行うとともに、入居者の方々とボウリングなどのレクリエーションを行い交流した。



幼児・児童を対象にした体育イベントでのボランティア

5 登録状況（平成26年1月末現在）

高等学校	登録人数	高等学校	登録人数
周防大島高等学校	27名	山口中央高等学校	23名
岩国高等学校坂上分校	6名	西京高等学校	44名
岩国高等学校広瀬分校	14名	宇部中央高等学校	3名
岩国総合高等学校	10名	宇部商業高等学校	21名
高森高等学校	9名	宇部工業高等学校	4名
柳井高等学校	4名	厚狭高等学校	17名
光丘高等学校	24名	田部高等学校	43名
熊毛北高等学校	12名	下関西高等学校	12名
南陽工業高等学校	9名	豊北高等学校	8名
山口高等学校	8名	計	298名